



公益財団法人

福島県体育協会

福体協ニュース

令和元年9月25日 (No.19-5)

生涯スポーツキャンペーン2019「親子体操教室・実技講習会」を開催しました！



9月8日(日)、南相馬市スポーツセンターにおいて「体操のお兄さん」こと佐藤弘道氏を講師にお迎えし、生涯スポーツキャンペーン2019「親子体操教室・実技講習会」を開催しました。佐藤氏には、2007年に開催した第1回目から13年連続で福島に来ていただいております、ご本人も福島の子供たちとのふれあいをとても楽しみにしておりました。今年の親子体操教室には81組264名の親子が参加し、実技講習会には幼児教育に携わる先生方80名が参加しました。また、ボランティアスタッフとして、幼稚園・保育園等の先生方や関係者17名、さらには、株式会社福島放送の山崎聡子(やまざき さとこ)アナウンサーに司会・進行役を務めていただくなど、たくさんの方に御協力をいただき、盛大に会を進めることができました。

「体操のお兄さん」こと佐藤弘道



〔山崎聡子アナ〕



〔佐藤久美子氏〕



〔佐藤文哉氏〕



〔亀井教人氏〕



〔スタッフ一同〕

親子体操教室では子どもたちの満面の笑顔と、心地よい汗を流しながら我が子とのふれあいの時間を楽しむ親御さんの姿が見られました。また、実技講習会では、佐藤氏の講話に真剣に耳を傾け、元気に身体を動かし、子供の体力向上につなげようとスキルアップに取り組む先生方の姿が見られました。運営する私たちスタッフも自然に身体が動き、一緒に踊りながら参加させていただきました。会の終わりには、佐藤氏にサイン会まで実施していただき、親子、指導者、スタッフが一体となって楽しめた本当に素晴らしい時間となりました。今回、参加していただいた御家族そして指導者の皆様には、これからの家族のふれあいや指導者の指導力向上に役立てていただけたら幸いです。そして、今回も快く出演を受け入れていただき、たくさんの笑顔と深い学びを提供していただいた佐藤氏と関係者の皆様、本当にありがとうございました。福島県体育協会は、これからも本県の子供たちに、運動をすることがもっと好きになってもらえるよう、幼児体操や親子体操の普及、指導者養成に力を入れていきたいと思っております。

〔親子体操教室の様子〕



〔実技講習会の様子〕



第 74 回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体 2019」福島県選手団結団式を開催しました！



9月19日（木）、福島テルサにおいて、第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体 2019」に出場する本県選手団の結団式が行われ、本部役員、監督・選手等約100名が出席しました。

内堀雅雄県知事から「誇りと自信を持って、全力で頑張ってもらいたい」との激励のお言葉をいただき、知事から団長である須佐喜夫県体育協会長へ、会長からバドミントン競技少年男子の李 正選手（ふたば未来学園高校3年）へと県旗のリレーが行われました。また、自転車競技少年男子の邊見光輝選手（学法石川高校3年）が、「福島県が一丸となって頑張りたい」と、力強く決意表明を行いました。



その後、須佐団長からのあいさつ、県議会議長の吉田栄光様と県教育委員会教育長の鈴木淳一様からの温かい激励のお言葉をいただき、野地誠県文化スポーツ局長の発声で、「いざっエイ！エイ！オー！」と、力強くときの声を上げ、選手、監督、役員すべての心が一つにまとまりました。



後半では、昨年に引き続き、全国高等学校ミスダンスドリル選手権大会 2019 に参加し、4部門の入賞と2つの特別賞を受賞した郡山商業高校チアリーディング部の演技披露によって熱い激励をいただき、本県選手団の団結力をより強くすることができました。



結団式に続いて、前福島陸上競技協会強化委員長・現U-20世界陸上競技選手権大会ハードルコーチの雪下良治先生（会津学鳳高校）から『信じる力と「きく力」』と題して講話をいただきました。日本代表コーチとして多岐にわたる選手の指導にあたってこられた自身の経験をもとに、国体までの短期間の中でパフォーマンスを発揮するためのポイントについてお話しをいただきました。選手には「監督やチームメイトを信じること」「最後は自分が今までやってきたことを心から信じること」の大切さを伝え、監督・コーチには、「教えすぎないこと」「選手の話聞き、選手の気付きを引き出すこと」の大切さなどについて伝えていただきました。

き、個人やチームのパフォーマンス向上に役立つ貴重な講話をいただきました。

最後には、尾形幸男総監督（県文化スポーツ局スポーツ課長）から、今年度の目標である「競技得点420点以上、総合成績35位以上」の実現に向けて、「自分を超え、チームを超え、競技種目を超えて、福島県選手団が一つとなって頑張ろうとする気概『ライジングふくしま』で共に戦おう！」と、熱いメッセージがありました。

いきいき茨城ゆめ国体 2019 は、9月28日の総合開会式から、10月8日の総合閉会式まで熱戦が繰り広げられます。選手団は、昨年度より多く、本部役員17名、監督62名、選手359名、計438名が参加します。

福島県の選手たちが実力を発揮できることを願い、本協会は全力で応援していきます！また、国体での活躍の様子や結果等につきましては、「Sports Fukushima 42号」に掲載する予定ですのでご覧ください。

